



WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

7 月 号

平成30年 6月29日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

## 「ありがとう」のあふれる学校

副校長 青島 大受

本年度、副校長として、東中田小学校に着任しました青島大受といたします。地域・保護者・学校の結びつきを大切に、子どもたちにとって、安心・安全な学校を目指していきたく思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、先日の朝会で、「あなたが一番美しいと思う言葉は何ですか」と尋ねたところ、いくつかの返答がありました。それは、「楽しい」「華麗」「すごい」などでした。どれも素敵な言葉だと思います。子どもたちが、自分らしい見方・考え方を、自分らしい感じ方をしていることを改めて感じさせられる場面でした。地域や保護者の皆様が同様の質問をされたら、どのようにお答えになられるでしょうか。

その中で、私と同じ考えの子どももいました。私が最も好きな言葉は、「ありがとう」です。この「ありがとう」は、ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、元々は「めったにない」「めずらしい」という意味だったそうです。しかし、時代を経て、次第に「めったにないことやめずらしいことに対する感謝」の意味も含むようになったそうです。

先日、この「ありがとう」を取り上げた1年生の道德の授業がありました。丁寧に普段の場面を振り返り、その時の様子や気持ちを捉え直していました。その日のまとめとして、「ありがとうを言うと、相手だけでなく自分も気持ちがよくなる」と黒板に書かれていました。また、この授業から、子どもたちは、感謝の意味の本質に気付いていることを再確認しました。

本校が合言葉としている「ハンドメイドな学校」は、人と人とのかかわりの中で、ぬくもりを感じながら、自然と湧き上がってくる感情を大切に、豊かな心の育成を目指そうというものです。「ありがとう」もその一つです。私自身も、まずは、子どもたちを含め、新しくお会いする方々に感謝の気持ちをもって接していきたいと考えています。そして、「ありがとう」の輪が広がり、この東中田小学校が「ありがとう」にあふれ、子どもたちの満足感や幸福感が高まっていくようにしたいと考えています。

現代は変化に富んだ時代です。心が痛くなるような天災、目を覆いたくなるような事件や事故等、何が起こるか分からない世の中です。そんな毎日を振り返って、一つ一つの事柄を見つめ直し、いつもと変わらない日常を過ごすことができることに感謝の気持ちをもっていきたいものです。

### 保護者の皆さま・地域の皆さまへのお願い

先日の大阪の地震では、尊い命が失われるとても悲しい事態となりました。それを教訓として、横浜市から通学路を点検するよう指示がありました。つきましては、通学路で壁の倒壊などが想定される危険箇所がありましたら、学校の副校長 青島までお電話（802-0500）でお知らせください。公道から目視で確認できる範囲でかまいませんので、よろしくお願いいたします。